

平成26年 丹波市10大ニュース

	タイトル及び説明
1	<p>かつてない豪雨災害とボランティアなど全国から温かい支援</p> <p>8月16日（土）から17日（日）にかけての豪雨により、市内複数箇所で甚大な土砂崩れが発生し、1人がその犠牲に、また全壊18戸、大規模半壊9戸、半壊42戸等を含む延べ1,021件の床下浸水以上の住家被害が発生し、その他にも林地の崩壊、道路、河川、農地等に多大な被害を受けた。</p> <p>この災害には、災害救助法と生活再建支援法が適用され、過去に経験したことのない大災害となった。</p> <p>この災害に対し、延べ17,000人を超えるボランティアの方々の復旧活動、数多くの支援物資や義援金など、全国各地から様々な形で温かく心強い支援をいただいた。</p>
2	<p>丹波市制10年、決意新たに再出発</p> <p>平成16年11月1日に氷上郡6町が合併し丹波市が発足した。</p> <p>以来、目まぐるしく変動する社会情勢の中、人口減少や少子高齢化、地域医療、そして平成26年8月の豪雨災害などさまざまな課題をかかえ、その解決に積極的に取り組み10年間歩んできた。これまでの経験や反省の上にたち、市民の丹波市に対する思いを大切に、住みたいまち・住み続けたいまちをめざし、新たな決意でまちづくりに取り組んでいく。</p>
3	<p>県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編始動</p> <p>平成24年11月に提言があった、県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編について、本年度2回の「統合再編検討懇話会」が開催され、平成30年度開院を目途とする基本方針が確認された。</p> <p>これにより、今後具体的な動きが始まることとなり、丹波市民にとって急性期から回復期まで、一貫した幅広い診療機能を安定的・継続的に受けられることが期待できる。</p>
4	<p>明日につながる復興と絆の大相撲丹波場所開催</p> <p>10月20日（月）三ツ塚ふれあいセンター「愛育館」で開催された。</p> <p>横綱白鵬や鶴竜、人気力士の遠藤など総勢240人が来丹し、本番さながらの取り組みに約2,300人の観客で埋め尽くされた会場は、熱気と興奮に包まれた。</p> <p>市内16団体で組織された実行委員会がスクラムを組み約1年かけて作り上げてきた大事業であり、丹波市民の元気、勇気、笑顔の源となった。</p> <p>丹波市制10周年を記念するとともに明日につながる復興にむけた新たな第一歩を踏み出す契機にふさわしい事業となった。</p>
5	<p>農林業振興に新たな息吹！木質バイオマス供給施設・シカ有効活用処理施設オープン</p> <p>未利用間伐材をチップ燃料に加工し、木質バイオマスエネルギーへの利用を目的とした「木質バイオマス供給施設」をオープン。</p> <p>丹波市森林組合、丹波ひかみ森林組合、丹波林産振興センターの三者が設立した「㈱バイオマスたんば」が運営し、丹波産木材の地産地消の役割の一旦を担う。</p> <p>また、シカを地域資源として捉え、食用や商品加工、最終処分まで手掛ける「シカ有効活用処理施設」をオープン。年間1,000頭の受け入れが可能で、鹿肉による産業定着と農林業被害の軽減をめざす。</p>

	タイトル及び説明
6	<p>山南・市島地域の認定こども園三園が開園</p> <p>丹波市では、0歳から5歳までの育ちの連続性に着目して、分断されることのない幼児教育・保育をめざして認定こども園を推進している。</p> <p>平成26年4月には、保育と教育機能を一体的に提供できる3園の認定こども園が新たにオープンした。</p> <p>現在、市内には、7園の認定こども園で、997人の子どもたちが保育や教育を受けている。今後も認定こども園の整備を進め、子どもたちがお互いに学び合い、助け合いながら生活することで、幼児期の子どもたちの生きる力を伸ばす環境づくりに取り組む。</p> <p>◇認定こども園「わだ」《生きる力の基礎を育む》 総工事費/ 4億649万円、定員/ 保育園部:120人 幼稚園部:30人</p> <p>◇認定こども園「いちじまこども園」 《生きよう 力いっぱい自分らしく まっすぐに!》 総工事費/ 3億9,012万円、定員/ 保育園部:130人 幼稚園部:20人</p> <p>◇認定こども園「あいいくの丘」 《五感で四季の移り変わりを感じ自然と共にたくましく育つ子》 総工事費/ 4億1,981万円、定員/ 保育園部:120人 幼稚園部:30人</p>
7	<p>デマンド（予約）型乗合タクシー利用者 100,000人達成！</p> <p>平成23年2月1日から運行を開始した「デマンド（予約）型乗合タクシー」の利用者が、平成26年10月20日に10万人に達した。</p> <p>11月3日には、丹波の森公苑において、10万人達成記念式典を行い、10万人目のご利用者様や最多くご利用者様に記念品を贈呈した。</p> <p>また、業務の運営・運行をいただいています丹波市商工会様、一般社団法人兵庫県タクシー協会丹波支部様には感謝状の贈呈を行った。</p>
8	<p>安心して学べる学校に～第1回いじめ・暴力ゼロサミットを開催</p> <p>8月30日（土）、春日文化ホール、春日商工会館において「第1回いじめ・暴力ゼロサミット」を開催した。</p> <p>このサミットは、各校2名の中学生が実行委員会を組織し、企画・運営を行いました。当日は、200名の参加者があり、保護者や地域住民も多数参加されました。サミットでは、実行委員会が考えた「丹波市いじめ・暴力ゼロ宣言」が採択され、11月には強化月間を設け、各校でいじめ・暴力ゼロに向けた取組が行われた。</p>
9	<p>ふるさと起業支援「たんばチャレンジカフェ」開設</p> <p>5月1日、丹波市で起業を志す有望起業家支援窓口としてふるさと起業支援「たんばチャレンジカフェ」を丹波市商工会春日支所に開設した。</p> <p>この窓口は「チャレンジできるまち・丹波」を目指して、丹波市内で起業しようとする若者や女性、第二創業並びに農業、林業、観光、商業など様々な階層やジャンルの有望起業家を発掘し、相談やセミナーなど効果的な支援を行う相談窓口として開設した。</p> <p>開設以来、延べ600人を超える相談と8件の起業があった。</p>
10	<p>職員の不祥事に対する処分と職場風土改善に向けての取組み</p> <p>水道部における2件の不正な支払処理、マンガン流出事故と水質検査結果の隠ぺい及び消防本部における物品購入に係る不正事務処理に関係した職員12人に対し、11月27日付で懲戒処分及び分限降任処分を行った。また、度重なる不祥事の総括として、管理監督責任を果たすため、市長の給料を12月から6か月間30%相当減額することとした。</p> <p>不祥事再発防止のため、コンプライアンスの徹底を図る職場風土づくりに、市長をトップとして意識改革を図り、各職場を単位に強力に取り組んでいく。</p>